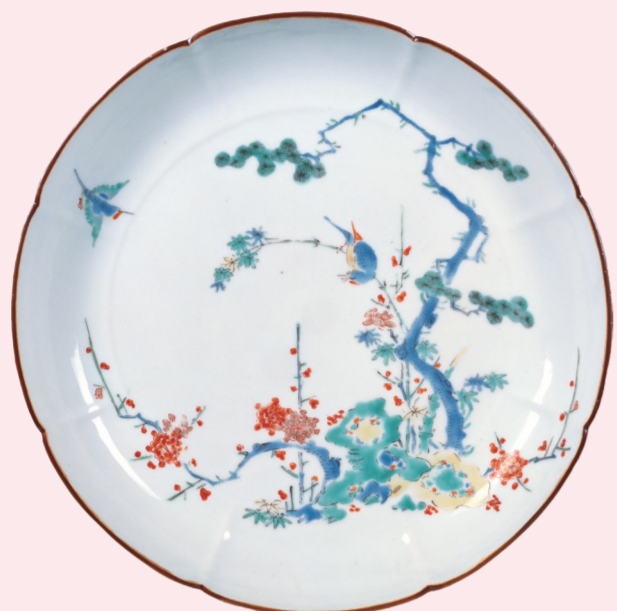




TOGURI MUSEUM OF ART  
戸栗美術館  
2025年度

# 展覧会スケジュール

戸栗美術館は1987年、渋谷区松濤に開館しました。当館創設者戸栗亨が収集した東洋陶磁器を中心とする美術品の永久的な保存および公開を通じた、後世への文化遺産の伝承を目的として活動しています。主な所蔵品は、江戸時代に佐賀・有田にて日本初の国産磁器として誕生した伊万里焼（古伊万里）、その技術を応用して徳川将軍家への献上品として創出された鍋島焼、そして、中国および朝鮮半島の陶磁器など。中でも江戸時代の伊万里焼の展開を通観できる体系的・網羅的な内容が特長です。年に4回の企画展を収蔵品主体で構成しています。



色絵 花鳥文 輪花皿  
伊万里（柿右衛門様式）  
江戸時代（17世紀後半）  
口径22.0cm

## 西洋帰りのIMARI展 —柿右衛門・金襴手・染付—

2025年4月12日（土）～6月29日（日）

18世紀初頭まで硬質磁器の製作技術を持たなかった西洋では、中国や日本からもたらされる磁器を珍重しました。西洋からの里帰り品をはじめとした輸出向けの古伊万里を展示いたします。



瑠璃釉 瓢形瓶  
伊万里  
江戸時代（17世紀中期）  
高19.5cm

## 古伊万里カラーパレット —釉薬編—

2025年7月11日（金）～9月28日（日）

古伊万里にみる釉薬には素地の白色を生かす透明釉のほか、青磁釉、瑠璃釉、銹釉などがあります。単色から複数色の掛け分けといった釉薬による装飾に注目し、約80点をご紹介します。

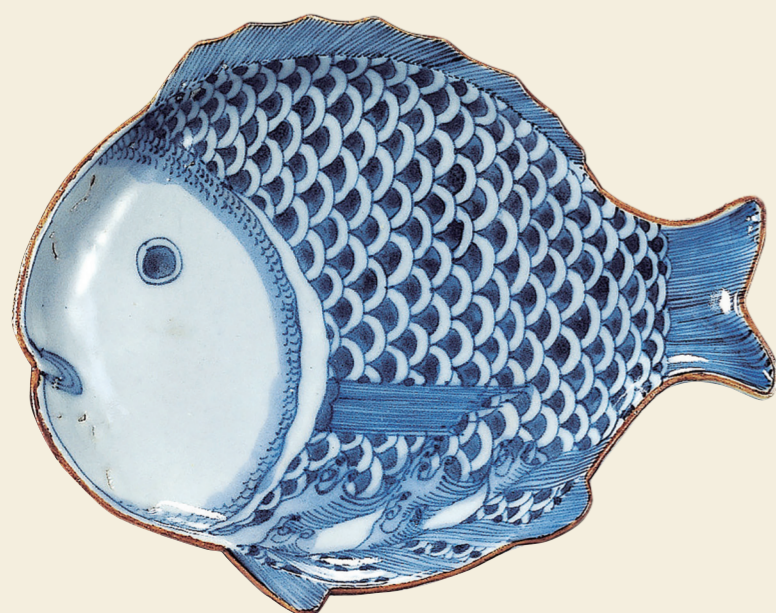


色絵 桐亀甲文 輪花皿  
伊万里  
江戸時代（17世紀末～18世紀初）  
口径34.2cm

## 古伊万里カラーパレット —絵具編—

2025年10月10日（金）～12月21日（日）

古伊万里は白い磁肌に施された色とりどりの絵付けを特色としています。絵具の色合いや配色に注目し、約80点をご紹介します。



染付 魚形皿  
伊万里  
江戸時代（17世紀中期）  
口径16.6×13.2cm

## 古伊万里 いきもの図会展

2026年1月8日（木）～3月22日（日）

動物、鳥、虫、魚など、古伊万里には様々ないきものが描かれています。今展では約80点の出品品にあらわされたいきものを文様ごとにご紹介いたします。図鑑をめくるように、お好きな作品からご覧ください。

開館時間：10:00～17:00（入館受付は16:30まで）

金曜・土曜は10:00～20:00（入館受付は19:30まで）

休館日：月曜・火曜（祝日の場合は開館し、両日とも祝日の場合は翌平日休館）

展示替え期間

※ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。

〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-11-3

TEL 03-3465-0070

<https://www.toguri-museum.or.jp/>

当館ホームページ

@toguri\_museum X @toguri\_museum

